

平成23年度策定 地域管理経営計画等(案)の概要

北海道森林管理局



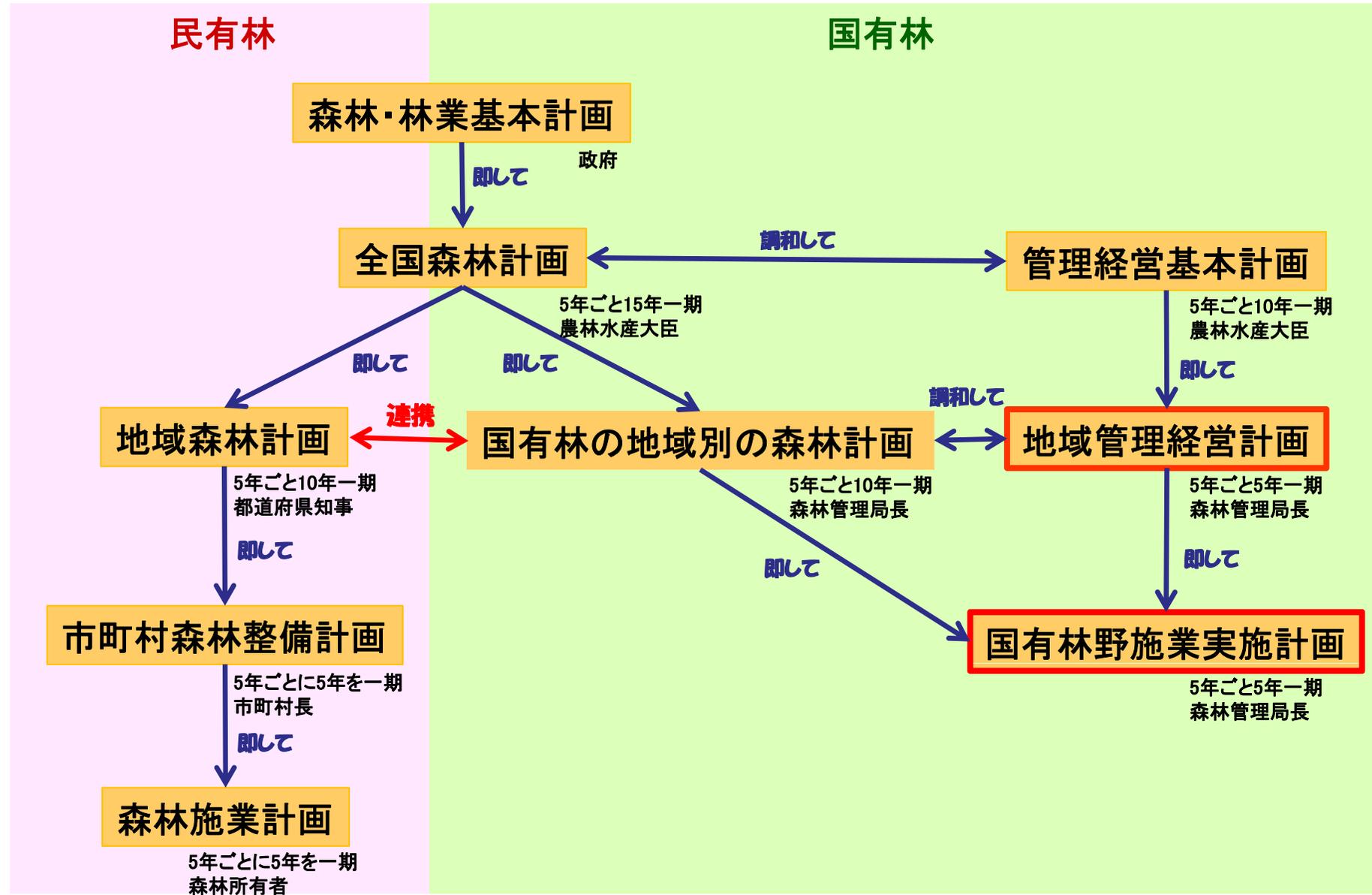
耕地防風林(中標津町)

1. 計画の体系及び森林計画区

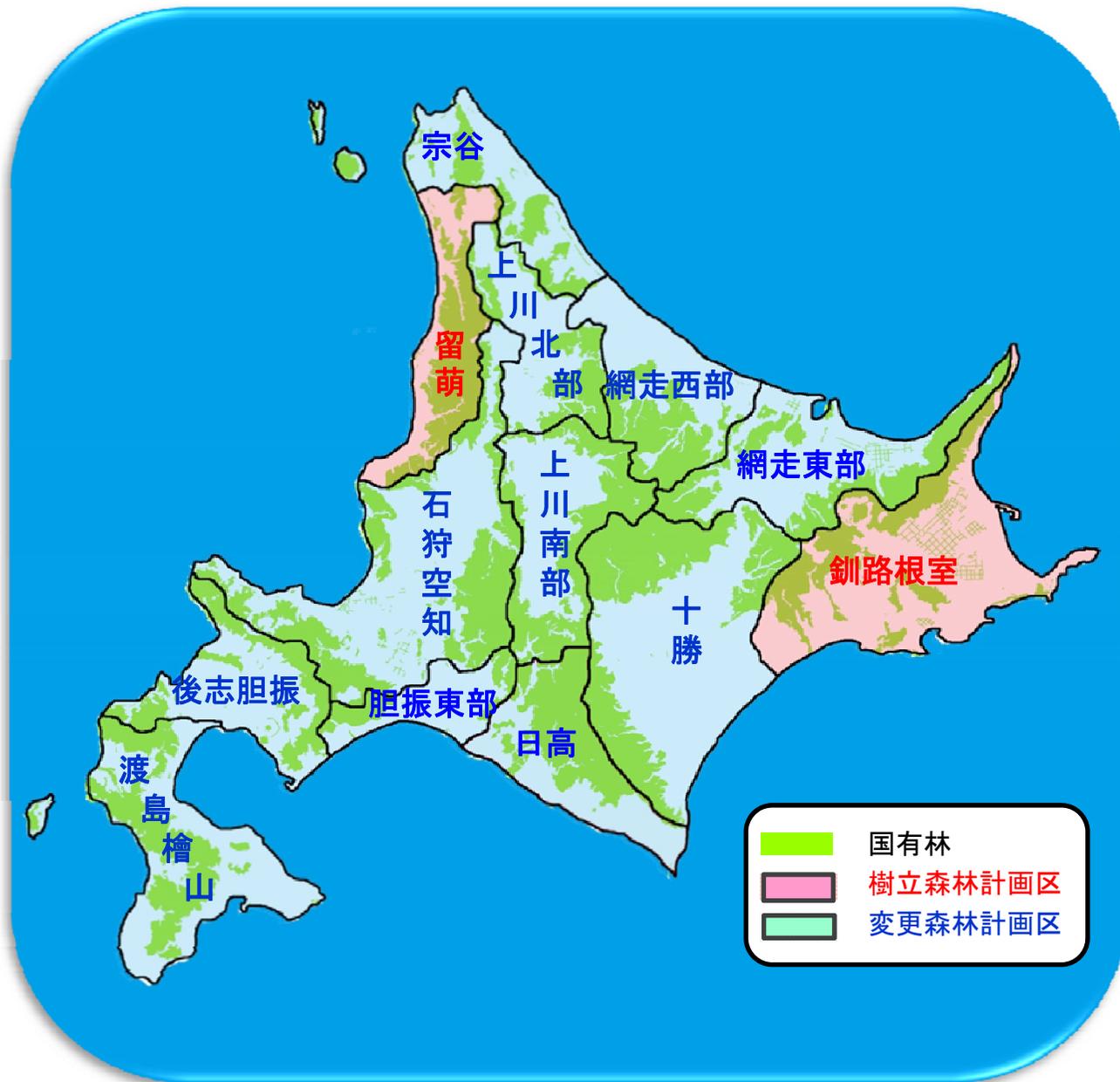
i) 計画の体系

ii) 森林計画区的位置

i) 計画の体系



ii) 森林計画区的位置



計画樹立年度

樹立年度	計画区名
24年度	石狩空知 上川北部 後志胆振
25年度	上川南部 網走西部 十勝
26年度	日高 渡島檜山
27年度	胆振東部 宗谷 網走東部
23年度	留 萌 釧路根室

2. 経常樹立計画の概要

i) 各森林計画区の地勢、林況

① 留萌森林計画区

② 釧路根室森林計画区

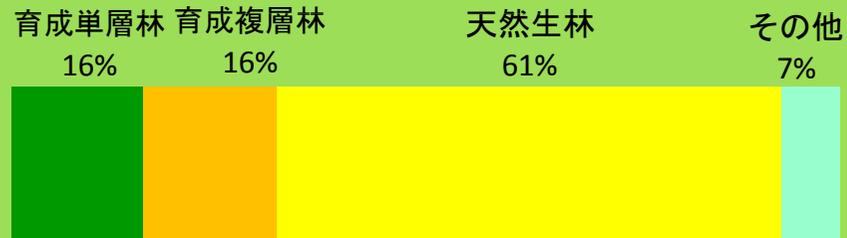
① 留萌森林計画区 ～地勢～



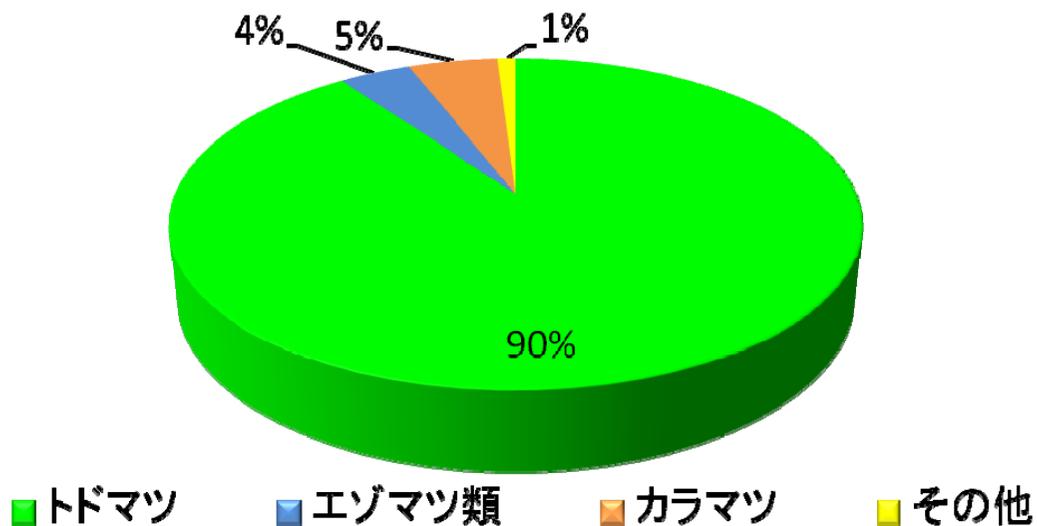
① 留萌森林計画区 ～林況～

流域面積
402千ha
森林面積
327千ha

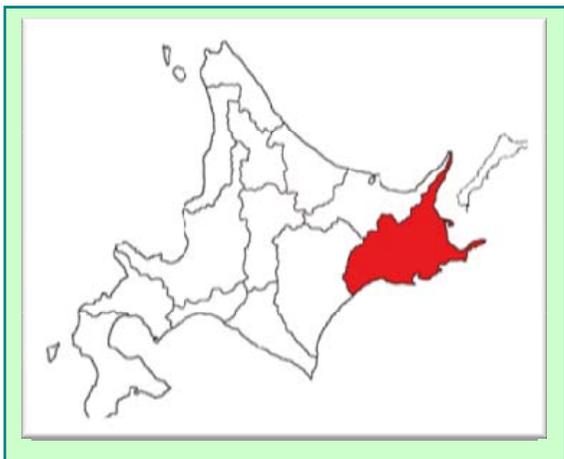
国有林野
198千ha



【人工林の樹種構成の割合】



② 釧路根室森林計画区 ～地勢～



② 釧路根室森林計画区 ～林況～

流域面積
950千ha

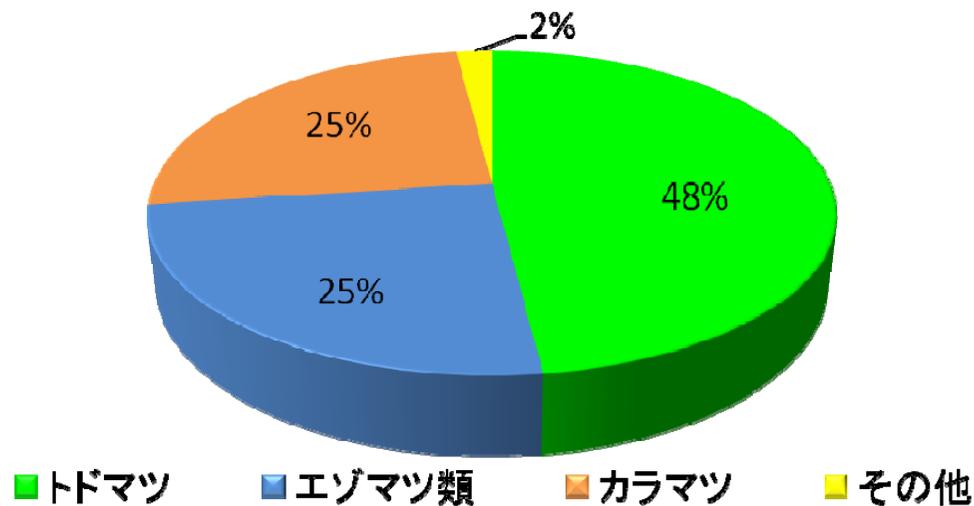
森林面積
558千ha

国有林野
288千ha

育成単層林	育成複層林	天然生林	その他
26%	10%	53%	10%



【人工林の樹種構成の割合】



2. 経常樹立計画の概要

ii) 計画樹立の基本的考え方

計画樹立の基本的考え方

森林の公益的機能の維持増進

水源かん養機能、山地災害の防止機能、生物多様性を保全する機能、レクリエーションや教育の場としての保健文化的機能など、森林の多面的な機能の維持増進を図るため、適切な管理経営を行う。

森林・林業再生プランの実現に向けた取組み

森林施業の集約化、路網の整備及び必要な人材育成を軸として、効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりや木材の安定供給と利用を推進し、10年後の木材自給率50%を目指す。

森林の公益的機能の維持増進①

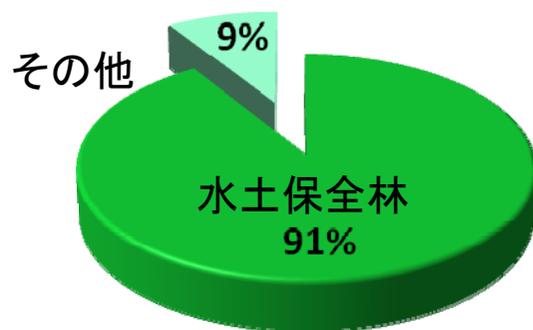
水源かん養機能及び山地災害防止機能の持続的発揮
に向けた森林整備



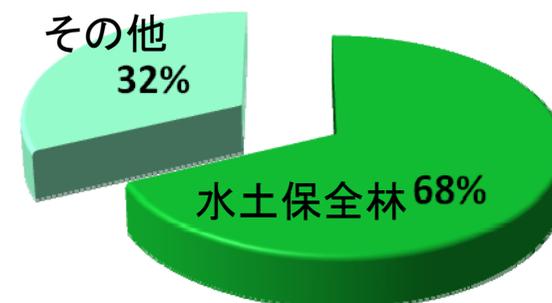
留萌ダム(留萌市 幌糠町)



大滝(白糠町 滝上)



【留萌森林計画区】



【釧路根室森林計画区】

森林の公益的機能の維持増進②

生物多様性保全の推進

留萌森林計画区

多様な森林への再生

「にしんの森」再生プロジェクト



エゾシカ被害対策(両計画区)



釧路根室森林計画区

原生的な生態系の保全

知床森林生態系保護地域



シマフクロウ生息地保護林



森林の公益的機能の維持増進③

保健・レクリエーション・文化機能の発揮

遊々の森

学校や地方公共団体等、NPOと協定を結び、
子供たちの体験学習や学習活動のフィールドとして国有林を提供

- ・羽幌わんぱくの森(留萌北部署)
- ・森の楽校サンケベツ遊々の森(留萌南部署)
- ・クテクン自遊の森(根釧東部署)



ふれあいの森

緑づくりや環境保全に貢献したい方へボランティア活動の場として国有林を提供

- ・てしお森遊ふれあいの森(留萌北部署)
- ・チバベリふれあいの森(留萌南部署)



モデルプロジェクトの森

地域住民や関係団体と協働・連携して地域の特色を活かした森林管理を実施

- ・「にしんの森」再生プロジェクト協働の森づくり(留萌南部署)



森林・林業再生プランの実現に向けた取組み①

積極的な森林整備と木材の安定供給

低コスト・高効率な作業システムによる木材生産の推進



高性能林業機械による
列状間伐

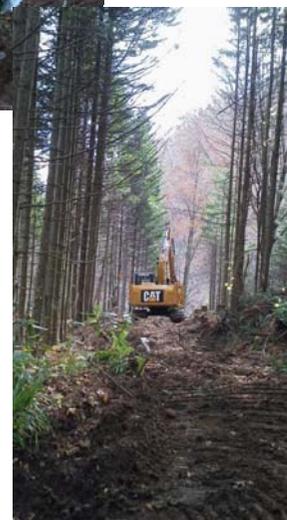


低コスト路網作設のため
の現地検討会

留萌南部署(10月)、
根釧東部・西部署(11月)開催



最新国産フォワーダの導入
(釧路根室地区)



低コストで崩れにくい
森林作業道

(平成23年度開設延長)

留萌北部署	3箇所	81,579m
留萌南部署	3箇所	73,734m
根釧西部署	12箇所	146,400m
根釧東部署	5箇所	71,100m



森林・林業再生プランの実現に向けた取組み②

民有林と国有林の連携による森林共同施業団地の設定

(留萌森林計画区)

初山別地域森林共同施業団地

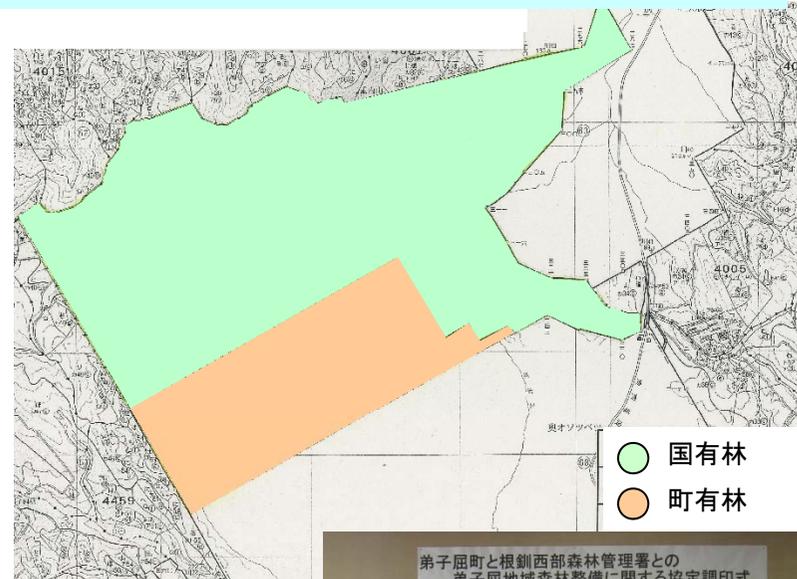
- 国有林
- 道有林
- 一般民有林
- 分収造林地



森林整備協定締結の調印式
(留萌森林計画区・初山別町)

(釧路根室森林計画区)

弟子屈地域森林共同施業団地



- 国有林
- 町有林



森林整備協定締結の調印式
(釧路根室森林計画区・弟子屈町)

民有林と国有林が連携して
効率的な森林整備を行う

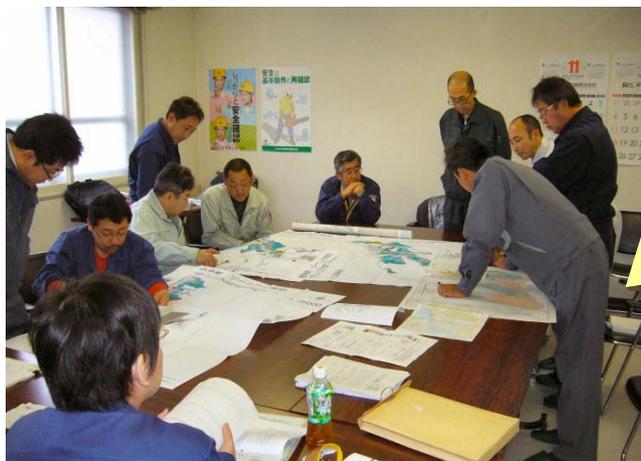
森林・林業再生プランの実現に向けた取組み③

准フォレスターの育成

高度な知識・技術と豊富な実務経験を有する「准フォレスター」を育成し
市町村森林整備計画策定等を技術面から支援



准フォレスター研修の実施
(研修場所は石狩署管内)



市町村森林整備計画の策定支援
(留萌南部地区市町村森林整備計画作成作業チームの様子)

<作成支援している市町村>

○留萌森林計画区

留萌市、増毛町、小平町、苫前町、
羽幌町、初山別村、遠軽町、天塩
町、幌延町

○釧路根室森林計画区

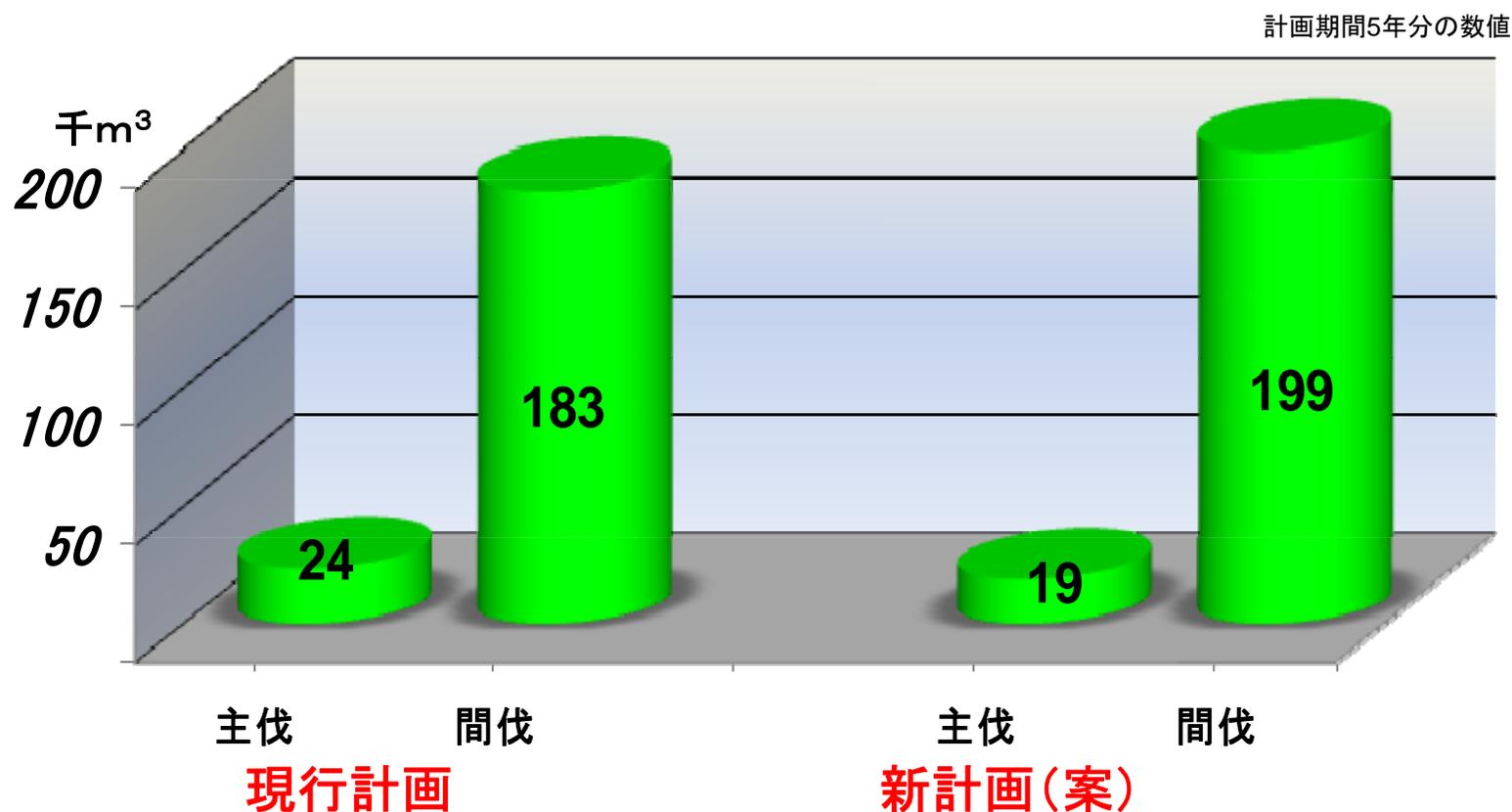
釧路市、釧路町、厚岸町、標茶町、
弟子屈町、白糠町、根室市、別海
町、中標津町、羅臼町

2. 経常樹立計画の概要

iii) 新計画の主要事業量

伐採計画量

～留萌森林計画区～



<主伐>

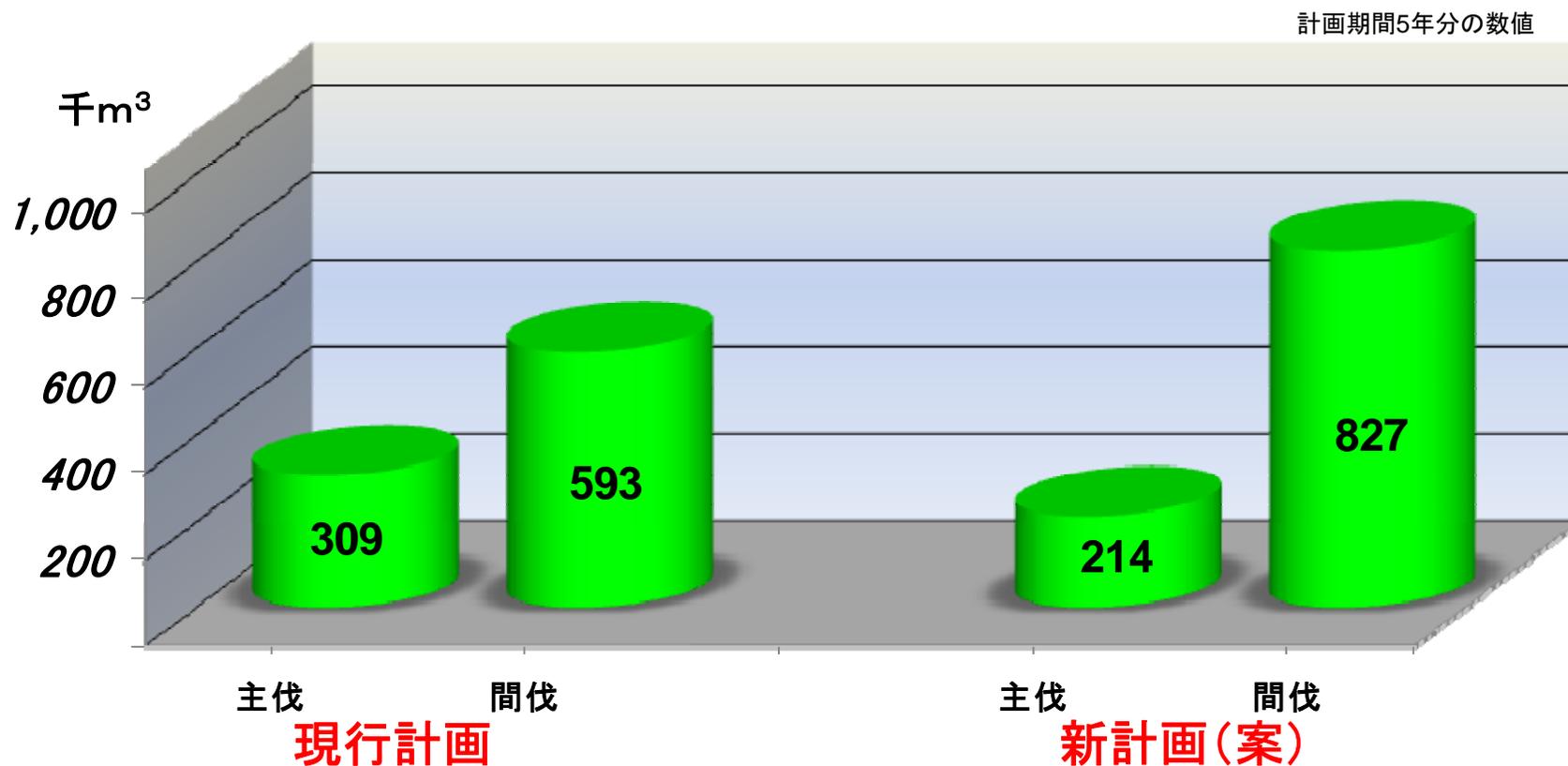
天然林の現況をふまえ天然林の主伐量を減少としたこと等のため、
現行計画と比べ減少

<間伐>

引き続き間伐対象林分が多いことから、間伐を積極的に計画

伐採計画量

～釧路根室森林計画区～



<主伐>

生物多様性保全等の観点から天然林の主伐量を減少としたこと等のため、現行計画と比べ減少

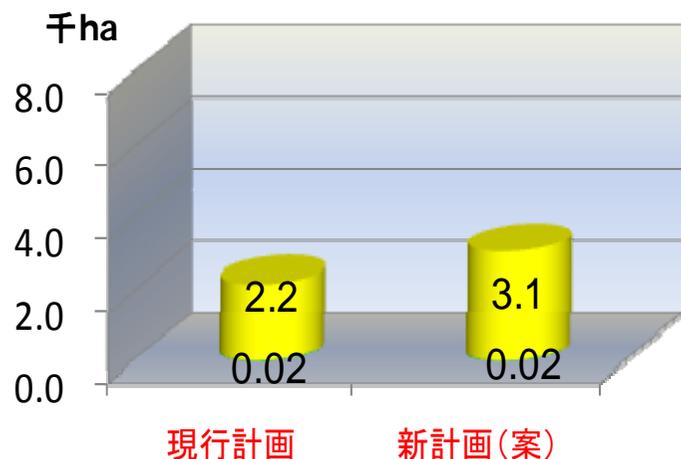
<間伐>

引き続き間伐対象林分が多いことから、間伐を積極的に計画

更新総量

留萌森林計画区

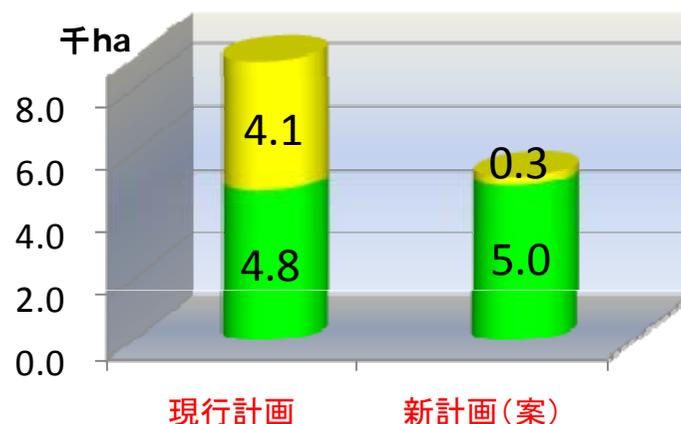
人工造林 天然更新
※計画期間5年分の数値



＜人工造林＞
主伐箇所への減少に伴い低位

＜天然更新＞
「にしんの森」をはじめ、ササが優占する箇所や疎林化した林分への天然更新補助作業等を中心に計画

釧路根室森林計画区



＜人工造林＞
現行計画後半期間の主伐に伴う更新を含むため増加

＜天然更新＞
天然林の主伐の減少に伴い減少

誘導伐の推進

人工林資源の再造成が急務となる中で誘導伐を推進

誘導伐の考え方

『長期育成循環施業』の森林整備手法として、群状または帯状の複層伐を行い、人工植栽を行うことで多段林を造成する



マルチキャビティコンテナ

植付に当たっては
・植付の適期が広く
・活着が良く
・作業効率の向上が期待
できる「コンテナ苗」を活用

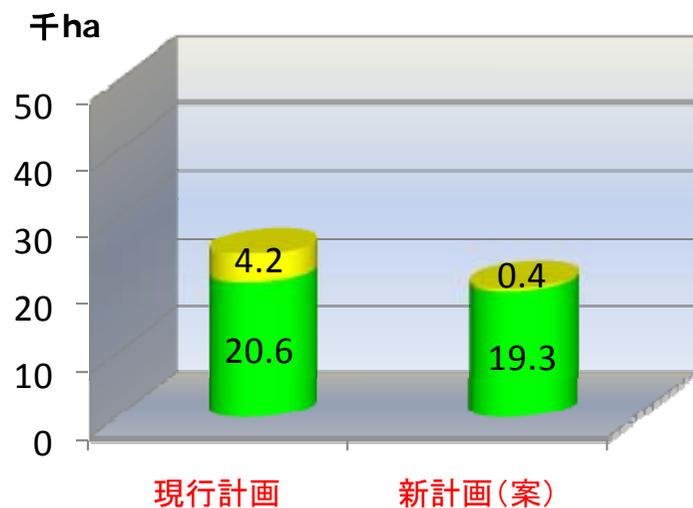


今期計画案においては
留萌森林計画 7ha
釧路根室森林計画 13ha
の誘導伐を予定

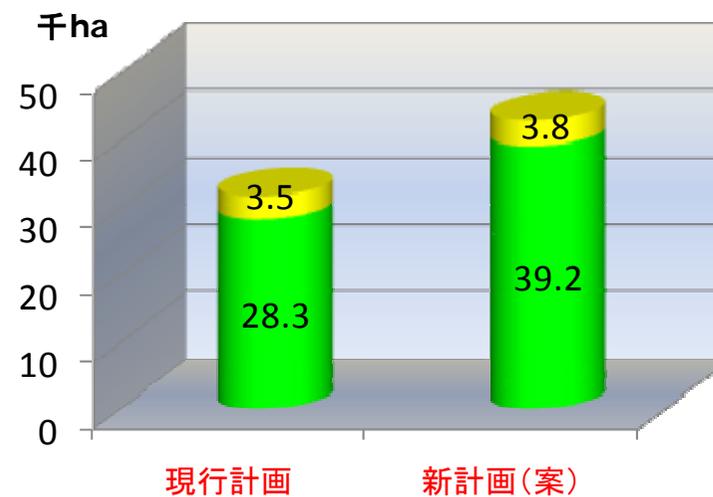
保育総量

■ 下刈 ■ つる切・除伐
※計画期間5年分の数値

留萌森林計画区



釧路根室森林計画区

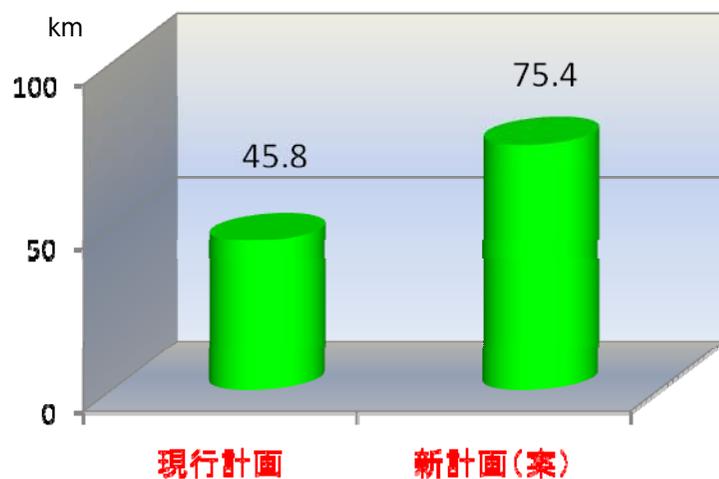


対象となる林分の齢級構成を踏まえて計画

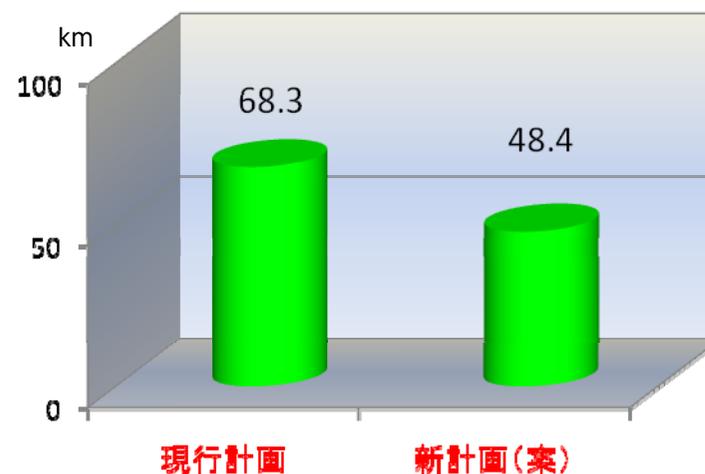
林道の開設計画

 林道
※計画期間5年分の数値

留萌森林計画区



釧路根室森林計画区



5力年間の事業箇所等を勘案して、必要な箇所を計画

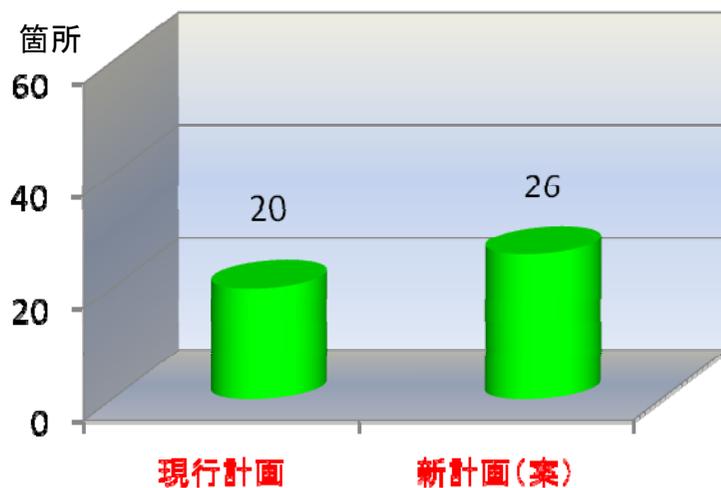
治山事業



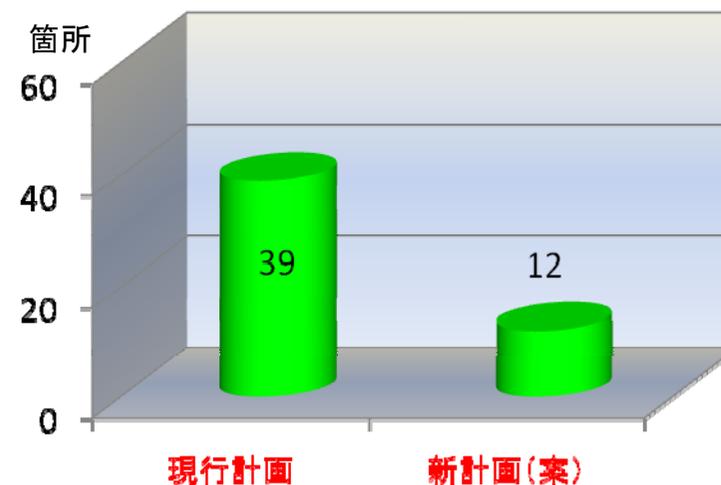
保全施設

※計画期間5年分の数値

留萌森林計画区



釧路根室森林計画区



保全対象に対する事業の必要性・緊急性等を考慮しつつ計画

保護林

保護林制度

原生的な自然の維持や動植物の保護等のため、豊かな生態系を有する森林を保護林として設定し保全する国有林野事業独自の森林保護制度



種 類	留萌森林計画区		釧路根室森林計画区	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	—	—	1	22,724
森林生物遺伝資源保存林	—	—	—	—
林木遺伝資源保存林	7	68	12	153
植物群落保護林	1	398	10	6,073
特定動物生息地保護林	—	—	6	5,954
特定地理等保護林	—	—	—	—
郷土の森	—	—	—	—
計	8	466	29	34,903

※シマフクロウの生息地保護林を前計画から115ha拡充

3. 変更計画の概要

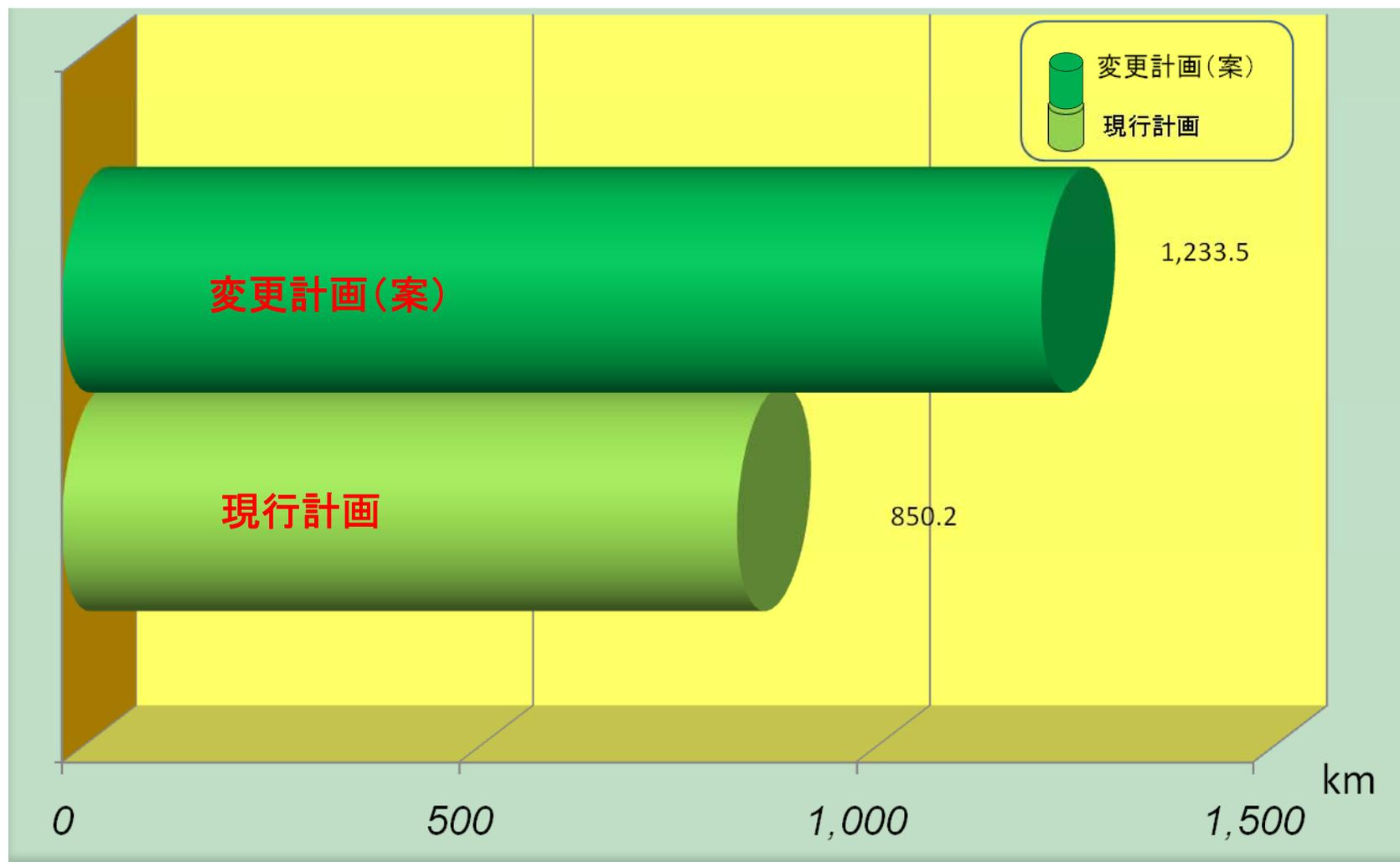
変更計画のポイント

林道計画の見直し (全ての変更計画区)

保護林の区域の拡充 (渡島檜山森林計画区)

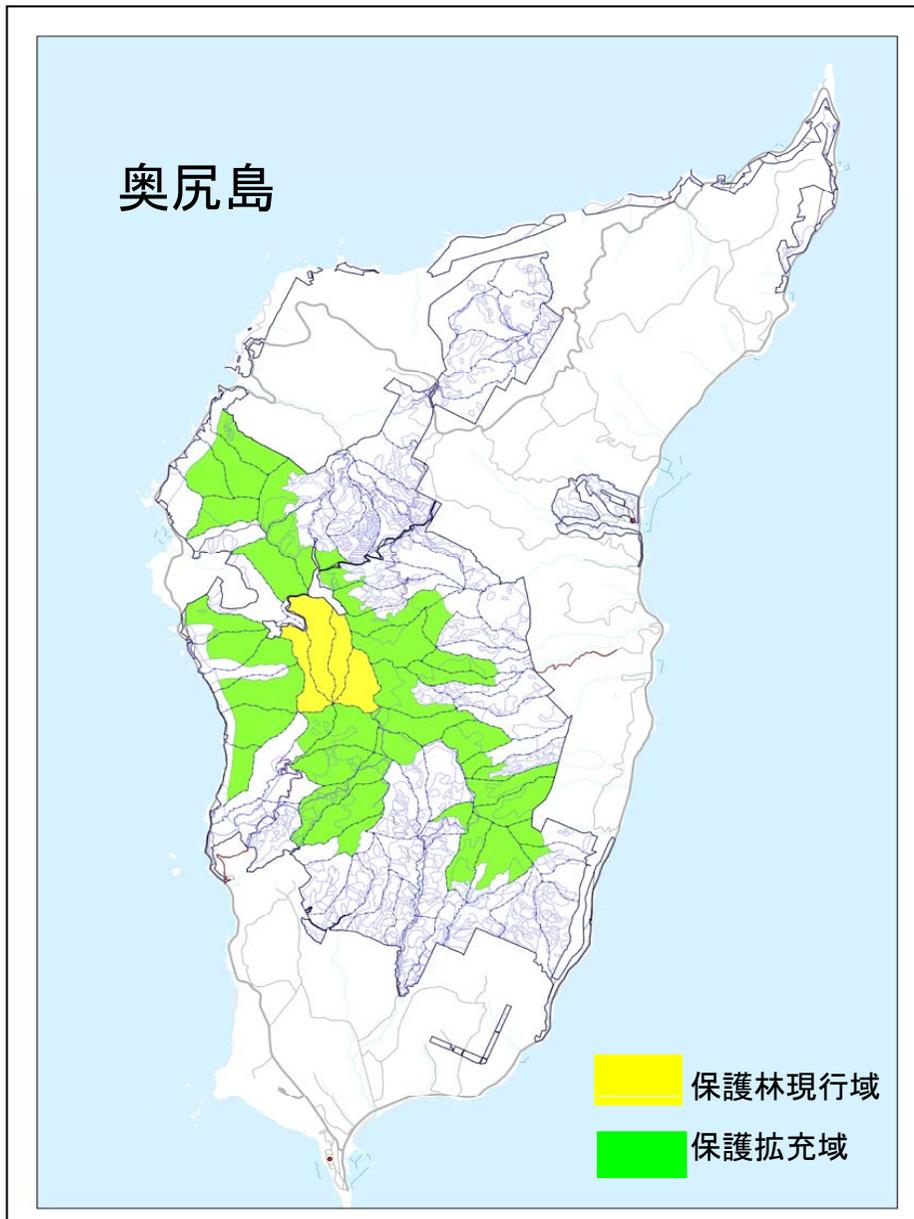
森林計画区	経常樹立	変更	
		林道変更	保護林拡充
留萌	○		
釧路根室	○		
石狩空知		○	
胆振東部		○	
日高		○	
上川南部		○	
上川北部		○	
宗谷		○	
十勝		○	
網走西部		○	
網走東部		○	
後志胆振		○	
渡島檜山		○	○

林道計画の見直し

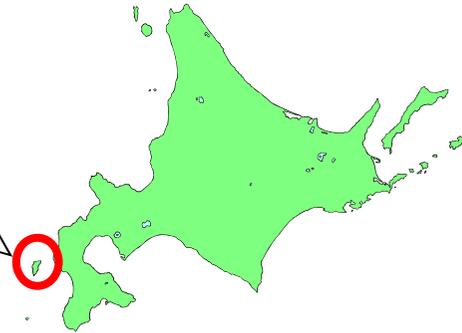


※数値は変更計画区の合計

保護林の区域の拡充①

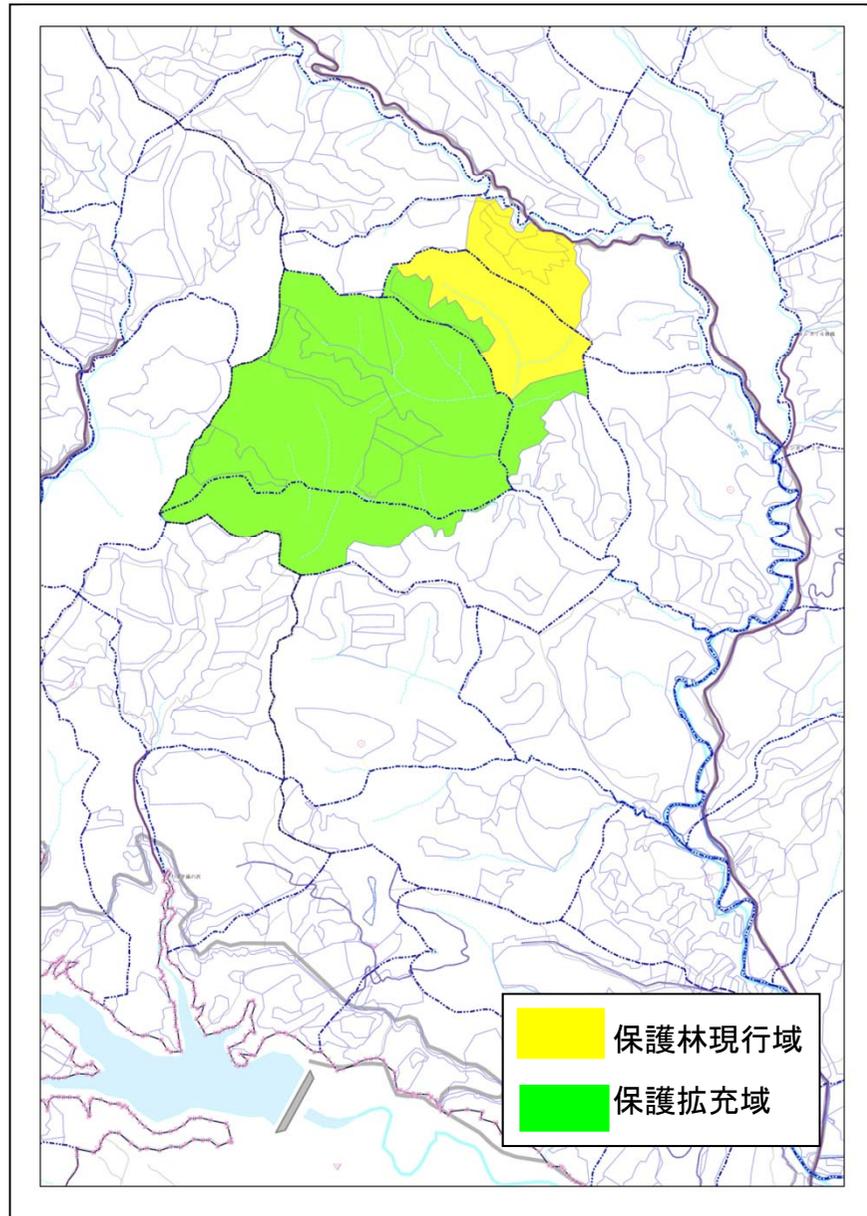


渡島檜山森林計画区
奥尻植物群落保護林

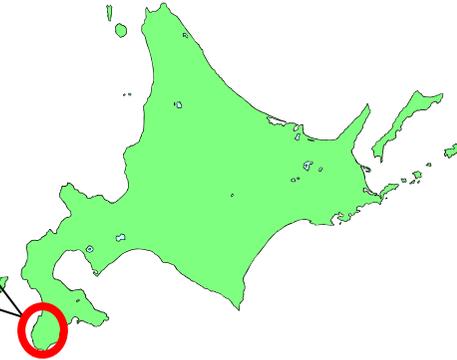


日本のブナ林の北限地帯であり
保護林の周辺も含め遺伝的に
特異性が認められたため、保護
林の区域を拡充し、遺伝子の特
異性の確保に資する

保護林の区域の拡充②



渡島檜山森林計画区
チリチリ川植物群落保護林



日本のブナ林の北限地帯であり
現行保護林では遺伝子の近親
性の高さが認められたため、保
護林の区域を拡充し、遺伝子の
多様性の確保に資する